

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

1 人材不足分野に対する人材確保支援

人材不足分野にかかる求人企業説明会を年間で18回開催して、就職促進に努めました。介護分野については、職業訓練の受講勧奨を積極的に進めることにより就職促進に努めました。運輸分野については、福井県や福井県タクシー協会と共催でタクシー業界説明会を所内で開催しました。その他、有資格者への積極的な情報提供など取り組んだ結果、年間の就職件数実績が介護分野108件、運輸分野115件と前年度を上回るものとなりました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

1 高齢求職者の就職促進

当所では高齢求職者が増加していることから、高齢求職者が応募可能な求人を確保し、所内に「シニア応募可求人」コーナーを新設して自由に持ち帰れる求人早見表を配架しました。また、積極的にマッチングを行って求人情報提供をして来所を促し、求人条件の事業所との交渉など課題解決型の職業相談サービスに取り組んだ結果、前年度より多くの高齢求職者を就職に結びつけることができました。

2 職業訓練受講の推進

訓練の受講促進のため、雇用保険受給者への初回講習会での訓練に関する説明、窓口での受講勧奨や訓練コースのリーフレットの所内掲示に加えて、訓練の制度説明とあわせて訓練校による訓練コース説明を行う「訓練セミナー」を年間で3回開催し、訓練受講の推進に努めました。

（3）その他の業務運営についての分析等

1 部門間の連携強化と業務改善の取組

当所では、週1回職業相談部門と事業所・専門援助部門が連携し、週1回ミニ業務検討会議を実施しています。内容としては、所内求人掲示の見直し、求人の記載内容に関すること、求人企業説明会や事業所訪問の事業所選定に関することなど多岐にわたる業務課題や部門間連携について話し合っ業務改善を検討しています。実際にこの検討会議で業務改善が行われており、自分たちの意見が業務に反映されることでモチベーションアップにもつながっています。

2 求人充足会議の見直し

求人充足会議の見直しを行いました。具体的には、随時選定する事業所とは別に必ずミニ求人企業説明会参加事業所を対象事業所として選定し、必要な支援策等を検討することとしました。また、所内で回覧する様式を変更したことで、求人充足会議の結果がより分かりやすくなり、業務に反映することができました。さらに、求人に対する求職者の反応や求人条件に対する職業相談窓口担当者の意見について、必要に応じて求人充足に向けた事業所へのアドバイスに活用する内容まで検討したことで、より求職者のニーズを求人に反映できる会議となりました。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

1 職業訓練受講修了者の就職促進
職業訓練を受講し、受講修了後3ヶ月以内に就職できない求職者が一定数いることが課題となっています。
この課題の解決のために、次年度以降は職業訓練受講者が応募しやすい求人確保するため、事業所訪問や職業訓練受講修了時期を意識した事業所見学会の実施など、就職支援策にこれまで以上に取り組んでいくことで、訓練受講修了者の就職促進を図ります。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職割合	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	⑧人材不 足分野の 就職件数	①生活保 護受給者 等の就職 率						
令和6年度目標	1,455	1425	43.9%	90.0%	90.0%	263	68.1%						
令和6年度実績	1,431	1464	42%	96.0%	100.0%	311	77.2%						
目標達成率	98%	102%	95%			118%	113%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率
※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。